

◆中小企業者等の支援

「茂原市中小企業者等振興総合支援事業補助金」において、新たに外国人観光客等の受入環境を整備する事業を支援メニューに加え、「茂原市中小企業融資制度」、「茂原市創業支援補助金」についても、さらなる充実を図り、市内産業の活性化と振興に努めます。

◆商店街の活性化

昨年実施したアンケートの調査結果による貴重な声を十分反映して、今後の商業振興に向けた有効な施策を検討します。

◆観光事業

本年度3回目となる「もばら冬の七夕まつり」を、2月11日に開催し、プロジェクトシヨンマップピングなどの新たな催し等により、多くの来場者で賑わいました。

さらに、3月23日から4月9日には「茂原桜まつり」を、そして7月28日から30日には、本市最大のイベントである「茂原七夕まつり」を、本年も盛大に開催できるように、関係機関と連携を図ります。

また、長生地域観光連盟と連携し、「2020東京オリ

ンピック・パラリンピック」開催へ向けて、長生エリアの魅力を発信し、新たな観光集客に結び付けていきます。



▲もばら阿波おどり

市民がまちづくりに積極的に参加し、地域に誇りと愛着の持てるまち



市民自治

◆コミュニティ活動の促進

自治会加入率の改善を図るため、2月6日に、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会九十九里支部および公益社団法人全日本不動産協会千葉県本部と、「自治会加入促進に関する協定書」を締結しました。

今後は、この協定に基づき、不動産業者が物件の販売や仲介、賃貸等を行う際に、市内

に転居される方々に対して、自治会への加入を案内するチラシを配布していただきます。今後も自治会長連合会と連携・協力しながら、コミュニティ活動の支援に努めます。

◆市民活動の推進

中の島・五郷・新治の3地区に講師を派遣するなど、自治会や地区社会福祉協議会等で構成する「地域まちづくり協議会」の設立支援に取り組み、認定制度を昨年11月に創設し、これまでに豊田地区および五郷地区のまちづくり協議会を認定しました。

今後も、「まちづくり条例」に基づき、市民参加・市民協働によるまちづくりの一層の推進に努めます。

◆本納公民館・支所複合施設

の本建設 本施設は「集う・学ぶ」「安全・安心」、「効率性・親近性」をコンセプトとしており、地域住民の交流や地域活動の促進に寄与し、生涯学習活動および防災の拠点としても、非常に重要な役割を果たすものです。平成30年4月の開館に向けて事業を進めます。

市民自治

広報活動の充実

・ 広報活動事業

2094万円

コミュニティ活動の促進

・ コミュニティ活動支援事業

1532万円

行財政改革の推進

・ ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

2253万円

・ 減債基金費(旧茂原市土地開発公社保有土地にかかる財産

収入を積立)

行政拠点の整備

・ 本納公民館・本納支所複合施設建設事業

7億1031万円

・ 庁舎維持管理費(うち庁舎

改修工事・庁舎内一部ト

イレの洋式化202万円)

1億3251万円

・ 茂原市総合戦略推進事業(うちシティプロモーション戦略策定支援業務

委託料・基本方針の策定

542万円)

757万円

▲複合施設イメージ図



◆行財政改革の推進

平成26年度から3年間にわたり実施しました「行財政改

革大綱第6次実施計画」は、本年3月に終了となり、引き続き平成29年度からの3年間の計画期間とする「行財政改革大綱第7次実施計画」により、最少の経費で最大の効果を上げられるよう、行財政改革を推進します。

「公共施設等総合管理計画」を昨年10月に、その行動計画となる「第1次アクションプラン」を12月に策定しました。公共施設の老朽化対策は重要課題ですので、将来にわたって最適な配置を実現できるように、総合的かつ計画的な施設管理を行います。